

令和7年度 第4回名古屋市日中サービス支援型グループホーム運営評価会議  
評価結果（令和8年2月16日開催）

（定期評価）

法人名称	特定非営利活動法人くらし応援ネットワーク
事業所名称	らくえん
事業所所在地	名古屋市中川区広田町2丁目14番地の1
評価結果	<p>下記の内容に留意し、適切な事業運営を実施されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日中サービス支援型グループホームの安定的な事業運営を行うため、法人として必要な体制の見直しを行い、法人本部とグループホームおよびその他の事業所との役割を明確にすること。 併せて、これまで実施してきた取り組みを見える化し、その進捗をチェックできる体制を整備すること。 そのうえで、様々な情報を職員全体で共有できるようシステム化を進めること。</li><li>・利用者の受入にあたっては、利用者本人の意思を尊重したうえで、日中サービス支援型グループホームの利用が適切かどうかを、組織的に判断できる仕組みを構築すること。 また、その仕組みが円滑に機能し、適切に運用されているかについて、定期的に確認を行うこと。</li><li>・事業所として、支援対象となる利用者の特性やニーズを明確にしたうえで必要な人材の確保に努め、さらに利用者の障害特性に応じた研修プログラムを構築するなど、必要な人材育成を行うこと。</li><li>・日中サービス支援型グループホームに求められる地域生活支援の中核的な役割について十分に検討し、必要な取り組みを行うこと。</li><li>・その上で、自立支援連絡協議会へ積極的に参加し、地域の関係機関と必要な連携が取れるように関係構築を進めるとともに、地域に求められる役割を担うこと。</li><li>・利用者への支援が法人内事業所による支援で完結しているように見受けられる状況を踏まえ、既存の関係性に基づく枠組みによる安定感を尊重しつつも、権利擁護の質や支援のあるべき姿が固定化しないよう、外部の目を取り入れる仕組みを検討すること。（モニタリングにおける相談支援・金銭管理等）</li></ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・障害者の地域生活を支援することの意義について、職員間で検討を行い、その検討を通じて、事業所として提供すべき支援および職員として果たすべき支援の内容を明確にし、業務体制および業務内容の見直しを行うこと。<br/>併せて、金銭管理、苦情や事故への対応、個別支援、意思決定支援などの具体的な項目について必要な検討を行うこと。</li><li>・事故発生時における事業所および法人の役割を見える化し、職員全体が事故発生時に適切に対応できる体制を整備すること。また、事故発生時においては、その要因を職員間で共有し、再発防止策を講じることができるよう、必要な体制を整備すること。</li><li>・金銭管理における事業所および法人の役割を見える化し、適切な金銭管理が確実にできる体制を整備すること。</li></ul> |
|--|--|